

— 魅力ある地域づくり活動を応援します！ —

福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）

# 令和4年度実施事業紹介



## ◆ 福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）とは？

地域の皆さんが主役となって行う地域づくり活動のうち、地域の課題を踏まえ、地域の特性を生かした個性と魅力あふれる地域づくり事業の立ちあげを支援する補助制度です。

## ◆ 補助対象事業（概要）

地域づくりに資する事業が対象です。（既存事業は対象になりません。）

事業の内容や実施団体、主な実施場所となる地域等により、申請できる「枠」が異なります。

※下記は、**令和5年度時点の内容**です。

補助事業枠等は毎年度更新される場合がありますので、**応募の際は必ず最新の情報をご確認ください。**

### ● 一般枠

地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う広域的な視点に配慮された事業や、先駆的、モデル的な取組であり各地方振興局長が定める採択方針に合致する取組が対象です。

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
民間団体	全ての市町村の区域	2/3以内	500万円	50万円

### ● 市町村枠

市町村及び複数市町村の連合体が行う、地域創生の推進に寄与し、具体的な効果が見込める取組が対象です。

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
市町村	全ての市町村の区域	3/4以内	1,000万円	50万円
複数市町村の連合体		4/5以内		

### ● 過疎・中山間地域活性化枠

過疎・中山間地域で実施される以下の3つの事業が対象です。

(参考) いわき市内の過疎・中山間地域

旧箕輪村、旧川部村、旧上遠野村、旧入遠野村、旧田人村、旧上小川村、旧永戸村、旧沢渡村、旧三阪村、旧大野村、旧川前村、旧大久村に該当する地区

### ① 集落等活性化事業

元気で賑わいのある地域づくりを目指し、過疎・中山間地域の集落等が行う集落等の再生・活性化への取組（集落等再生事業）及びその計画を策定する取組（集落等再生計画策定事業）が対象です。（単なる維持修繕を除く）

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
集落等	過疎・中山間地域	①集落等再生事業 4/5以内（※）	①500万円	②25万円
		②集落等再生計画策定事業 10/10以内	②30万円	②なし

※「集落等再生計画策定事業で策定した計画」または「大学生の力を活用した集落復興支援事業で策定した集落活性化計画」に基づく事業を実施する場合は、100万円まで補助率10/10以内、100万円を超える部分は補助率4/5以内となります。

### ② スタートアップ支援事業（収益事業）

集落等と協定を結び、市町村の推薦を受けた過疎・中山間地域の民間企業や協定団体が地域資源を活用して行う、地域に根差したスモールビジネスの立ちあげや生業の創出に係る取組が対象です。

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
民間企業 協定団体	過疎・中山間地域	9/10以内	300万円（累計）	20万円

### ③ 集落ネットワーク圏形成事業

市町村又は小さな拠点づくり計画に定める事業実施主体が行う、生活環境の維持向上や地域資源を活用したしごとづくりなど、住民同士の話し合いを通じた地域運営の仕組みづくりを推進し、地域課題の解決を図る取組（小さな拠点づくり事業）及び市町村がその計画を策定する取組（小さな拠点づくり計画策定事業）が対象です。

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
市町村 （※1）	過疎・中山間地域	①小さな拠点作づくり事業 9/10以内（※2）	①500万円（累計）	①25万円
市町村		②小さな拠点づくり計画策定事業 9/10以内	②50万円	②なし

※1 以下による実施を可能とする

①市町村が直接実施する事業②小さな拠点づくり計画に定める事業実施主体に対する委託により実施する事業

③小さな拠点づくり計画に定める事業実施主体に対して補助金を交付し、若しくは負担金を支出して行う事業

※2 工事請負費及び備品購入費については2/3以内となります。

## ◆ 補助対象経費（実施マニュアルに対象経費の例示の記載あり。）

- 1 報 償 費 … 指導又は助言等を行う専門家等に対する謝金 等
- 2 委 託 料 … ホームページ制作委託料、市場調査委託料 等
- 3 工事請負費 … 土地、工作物等の造成又は製造及び改造の工事、工作物等の移転等に要する経費
- 4 備品購入費 … 機械装置及び設備等の購入費
- 5 諸 経 費 … 旅費、消耗品費、燃料費、印刷製本費、通信運搬費、使用料及び賃借料 等

## ◆ 補助対象期間

補助の期間については、**原則1年**です。

ただし、次の①～③のいずれかに該当する場合で、特に必要と認められる事業については、**3カ年を限度に継続を認めることがあります。**

- ①単年度では完了しない継続事業など、将来にわたり明確な事業計画のある、発展的な事業であること
- ②前年度より補助金依存度が低下するなど、自立に向けた取組が明確に認められる事業であること
- ③前年度に顕著な事業効果が認められ、更なる発展性が見込まれる事業であること

※ 事業決定は単年度ごとに行うものであり、毎年度応募及び審査を受ける必要があります。  
次年度以降の補助を約束するものではありません。

## ◆ 募集時期

例年**事業実施年度の前年度の1月下旬頃～2月中旬頃**に第1次募集を行います。

※第1次募集の応募状況によっては、年度途中に第2次募集を実施する可能性があります。



各卒の補助容等、詳しくは福島県いわき地方振興局のホームページをご覧ください。  
【ホームページ】福島県いわき地方振興局企画商工部 地域創生総合支援事業（サポート事業）  
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/iwaki-kikakusyokou-top/support-top.html>

相談先：福島県いわき地方振興局 企画商工部 地域づくり・商工労政課 サポート事業担当  
TEL：0246-24-6006 FAX：0246-24-6019  
Email：iwaki\_chiiki@pref.fukushima.lg.jp

## 令和4年度実施事業一覧

### ◆一般枠

#### ①福の島クラフトフェア【新規事業】

(福の島クラフトフェア実行委員会)

#### ②湯本を本気で遊ぶプロジェクト～湯本駅前市有地暫定利活用と社会実験～【新規事業】

(じょうばん街工房21)

#### ③「フラシィいわきの香り」ブランディング事業【新規事業】

(いわき市シティセールス推進協議会)

#### ④長寿をより充実したものにするための学習【新規事業】

(特定非営利活動法人S・Sプランニング)

#### ⑤リアル&バーチャルコットンツアーとSDGs研修受け入れ推進事業【継続事業2年目】

(一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト)

#### ⑥光と食の祭典～いわきWinter Festival～【継続事業2年目】

(公益社団法人いわき青年会議所)

#### ⑦三和町地域活性化事業【継続事業2年目】

(NPO法人MOCCS)

#### ⑧いわき市ワーケーション推進事業【継続事業3年目】

(いわき市シティセールス推進協議会)

#### ⑨冬の風物詩づくり第3回「クリスマスマーケット」開催事業【継続事業3年目】

(小名浜クリスマスマーケット実行委員会)

### ◆過疎・中山間地域活性化枠（集落等活性化事業）

#### ⑩上三坂に住民のコミュニケーションの場所（居場所）を作るための実行計画策定事業【新規事業】

(上三坂地区)

# ①福の島クラフトフェア

【実施団体】福の島クラフトフェア実行委員会

【実施地域】いわき市四倉地区

【事業費】1,489千円（補助額：963千円）

〈一般枠〉

地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う広域的な視点に配慮された事業や、先駆的、モデル的な取組であり各地方振興局長が定める採択方針に合致する取組が対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円 【補助対象事業費の下限】50万円

## 主な事業内容

### ①大規模クラフトイベント「福の島クラフトフェア」の開催

クラフト作家を全国から応募形式で募集し、いわき市初の大規模なクラフトイベントを開催。地元の食材を使用した飲食ブースで地元食材のPRを実施。

## 事業目的

クラフトにおける作り手と使い手が直接交流を持てる場を提供する事で、いわき市内のクラフト文化の発展させること。

また、他県からの出店者や来場者にいわき市の良さを知ってもらうことで、イベントの誘客を市内の観光に繋げ、地域の発展と活性化につなげること。

## 事業効果

市内外から多くの人々が訪れたことにより、交流人口の拡大に繋がり、多くの方にクラフト文化を知ってもらう機会となった。また、来場者や他県からの出店者等にいわき市の食べ物や観光施設等を知ってもらう機会となった。

## 今後やってみたいこと

毎年、定期的で開催することでクラフト文化を定着させ、コロナが落ち着けば体験型のワークショップも開催したい。

観光関係団体等に協力してもらい、市外からの誘客を観光まで繋げられるような取組を拡充していきたい。

## 活動状況写真



福の島クラフトフェア



福の島クラフトフェア

# ②湯本を本気で遊ぶプロジェクト～湯本駅前市有地暫定利活用と社会実験～

【実施団体】 じょうばん街工房 21

【実施地域】 いわき市常磐地区

【事業費】 3,887千円（補助額：2,592千円）

〈一般枠〉  
地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う広域的な視点に配慮された事業や、先駆的、モデル的な取組であり各地方振興局長が定める採択方針に合致する取組が対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）  
【補助率】 2/3以内 【補助限度額】 500万円 【補助対象事業費の下限】 50万円

## 主な事業内容

### ①湯本駅前でのまちづくり活動の拠点となる場所づくり

湯本駅前に整備された「あとち集会所」と「あとち広場」を活用し、地域のまちづくり活動の拠点となる3つの場所（図書館、フューチャーセンター、広場）づくりを実施。

### ②まちづくり人材を育成するための対話と学びを促進する場の開催

まちづくりを行っていく人材を育成するため、対話と学びを促進する2つの場（まちづくりワークショップ、まちづくり勉強会）を開催。

## 事業目的

これまで常磐地区のまちづくり活動に参加したことのない方や、若手世代などにまちづくりに対する関心を持ってもらい、その中からまちづくりや地域活動に主体的に参画する新しいメンバーを発掘することにより、今後常磐地区のまちづくりを担う人材を育成する。

## 事業効果

湯本駅前のまちづくりに関心を持つ人が増え、ワークショップや勉強会への参加など、地域の方のまちづくり活動の参加につながる取組となった。  
芝張りワークショップの開催や、他団体との連携によるイベントの開催などを通じて、湯本駅前の賑わい創出に寄与する取り組みとなった。

## 今後やってみたいこと

公民連携による湯本駅前交流拠点づくりに参画していくためのより専門的な学びの機会を設定していく。  
最終的には湯本駅前再生整備に合わせていくまちづくり会社の設立とエリアマネジメント事業、リノベーションまちづくり事業などを検討していく。

## 活動状況写真



まちづくり勉強会



広場づくり（芝張りワークショップ）

### ③「フラシティいわきの香り」ブランディング事業

【実施団体】いわき市シティセールス推進協議会

【実施地域】いわき市内

【事業費】1,322千円（補助額：881千円）

〈一般枠〉

地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う広域的な視点に配慮された事業や、先駆的、モデル的な取組であり各地方振興局長が定める採択方針に合致する取組が対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円 【補助対象事業費の下限】50万円

## 主な事業内容

### ①市内各地での「フラシティいわきの香り」のプロモーション

「フラシティいわきの香り」を使用したプロモーションの実施。  
市施設や商業施設にアロマディフューザー、香り紹介カード等の設置。  
フラガールズ甲子園会場内で香りのプロモーションを実施。

### ②市内周遊型香り体験イベントの開催

市内周遊型の香り体験イベント「フラシティいわき カオリマスター」の開催。

## 事業目的

いわき市において、「フラシティいわき」の認知度を高めるため開発した「フラシティいわきの香り」を切り口として、「都市ブランドイメージ」を向上させることにより、市の新たな魅力の発見、人の流れの創出、地元企業の稼ぐ力の向上へ繋げる。

## 事業効果

「フラシティいわきの香り」を使用した市内外の方へのアプローチにより、「フラシティいわき」の認知度およびブランドイメージの向上に繋がる取組となった。

## 今後やってみたいこと

アンケートやイベントで香りを体験した方々から直接いただいた意見を参考に、新たな商品開発について事業者や協議会員との協議を進めていき、地元事業者の新たな稼ぐ力の創出に取り組んでいく。

## 活動状況写真



フラガールズ甲子園での香りの設置



フラシティいわき カオリマスター

## ④長寿をより充実したものにするための学習

【実施団体】特定非営利活動法人S・Sプランニング

【実施場所】いわき市平地区

【事業費】607千円（補助額：395千円）

〈一般枠〉

地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う広域的な視点に配慮された事業や、先駆的、モデル的な取組であり各地方振興局長が定める採択方針に合致する取組が対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円 【補助対象事業費の下限】50万円

### 主な事業内容

#### ①介護の講話・健康体操教室、減塩料理教室の開催

これからの長寿社会をより充実したものにするための学習の場として、年齢を重ねると悩みとなる「食」や「介護」等の問題について学ぶことができる教室を現地開催とオンライン配信で同時開催。

### 事業目的

年齢を重ねると悩みとなる「食」や「介護」の問題について若い時代から学んでいくことにより、親世代の介護の問題や、自身のこれからの健康人生100年の時代をどう生きていくか深く考えてもらう機会とすることで、長寿社会をより充実したものにしよう。

### 事業効果

コロナ禍であったが、オンライン配信も併せて実施したことにより、多くの方に参加していただくことができ、この度の活動を通して『人と人とのコミュニティ』の大切さがわかり、一度参加された方は口コミで他の人を誘ってきてくださる傾向がみられた。

### 今後やってみたいこと

各教室等の学習の場を継続して開催していき、将来的には、長寿をより充実したものにするための学習のまとめとして、会津の三観音に巡拝ツアーを開催したい。

### 活動状況写真



健康体操教室



介護にならないための講話

## ⑤リアル&バーチャルコットンツアーとSDGs研修受け入れ推進事業

【実施団体】一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト

【実施場所】いわき市内

【事業費】2,251千円（補助額：1,500千円）

〈一般枠〉

地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う広域的な視点に配慮された事業や、先駆的、モデル的な取組であり各地方振興局長が定める採択方針に合致する取組が対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円 【補助対象事業費の下限】50万円

### 主な事業内容

#### ①オンライン&リアルコットンツアーの実施

ふくしまオーガニックコットンプロジェクトの取り組み紹介や、地域の魅力などを紹介するツアーをオンラインとリアル形式で実施。

#### ②SDGs研修推進事業の実施

前年度に企画開発した研修プログラムを実際に運用し検証するため、SDGs研修事業案内パンフレット整備や他団体の研修の体験調査、SDGsについて考えるローカルイベント等を実施。

### 事業目的

団体の取組が、SDGsの目標達成といった切り口での学びの提供のできる主体になることで、地域の新たな魅力の一つとなることを目指す。

地域住民に、プロジェクトを地域における民主導の地域魅力づくり事例として認識されるようになることで、誇りをもってもらうことを目指す。

### 事業効果

オンラインツアーのみならず、実際にいわきに足を運んでもらうリアルモニターツアーを実施したことにより、これまでいわき市に来訪したことはあっても、地域に足を運んで地域の魅力に触れる機会を持たなかった参加者に対して、実際に地域に入り込み地域住民との交流をもつきっかけとなった。

### 今後やってみたいこと

オンライン・リアルモニターツアーの開催を継続。リアルツアーのうち2回は圃場の近くの駅発着とし、地域内の方にも気軽に参加可能にする。

また、栽培機材整備などにより有機農業としての技術向上を目指し、SDGsを意識した研修の提供を充実させる。

### 活動状況写真



オンラインコットンツアー



リアルモニターツアー

# ⑥光と食の祭典～いわきWinter Festival～

【実施団体】公益社団法人いわき青年会議所

【実施場所】いわき市内

【事業費】8,570千円（補助額：4,100千円）

〈一般枠〉

地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う広域的な視点に配慮された事業や、先駆的、モデル的な取組であり各地方振興局長が定める採択方針に合致する取組が対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円 【補助対象事業費の下限】50万円

## 主な事業内容

### ①各地でのイルミネーション（第2回イルミエールいわき）の実施

いわき駅前、湯本駅前、内郷新川沿いでイルミネーションの点灯及び他イルミネーション（21世紀の森公園、小名浜アクアマリンパーク）との連携。各地のイルミネーションを対象としたSNSスタンプラリー&フォトコンテストの開催。

### ②食のイベント（光と食の祭典～いわきWinter Festival～）の開催

イルミネーションの点灯式と同日に、地元飲食店が出店する食のイベントの開催。

## 事業目的

少子高齢化による人口の減少と昨今のコロナ禍での行動の自粛により、街の賑わいが低下している中、市民や市民団体と共に、いわき市が一体となれる冬の風物詩を創り出すことで、地域間の繋がりを持つ機会を増やし、市民がまちづくりに参加できるような機会を創出し、市の活性化に繋げる。

## 事業効果

市民同士が交流することで、まちに賑わい創りに繋がった。

各地に各エリアに地域団体と連携し点灯場所を拡大したことで、イルミネーションを通じたいわき市内の一体感を演出でき、各地域の活性化に繋がった。

## 今後やってみたいこと

市民参加型の同時点灯式・スタンプラリー・フォトコンテストをさらにブラッシュアップしていき、いわき市全体で「この街を活性化したい」というひとつの目的に向かって市民の皆さまとの共創のまちづくりを具体化していく。

## 活動状況写真



イルミエールいわき



光と食の祭典～いわきWinter Festival～

# ⑦三和町地域活性化事業

【実施団体】NPO法人MOCCS

【実施地域】いわき市三和地区

【事業費】3,378千円（補助額：2,069千円）

〈一般枠〉

地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う広域的な視点に配慮された事業や、先駆的、モデル的な取組であり各地方振興局長が定める採択方針に合致する取組が対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円 【補助対象事業費の下限】50万円

## 主な事業内容

### ①「いこいの学校長居小」にて健康支援の催しを実施

実施団体が運営する施設「いこいの学校長居小」にて、グラウンドゴルフ大会を主軸とした健康推進イベントを2回開催。

### ②スマートフォン・タブレット講座の実施、施設独自アプリの開発

健康体操動画の閲覧や施設への送迎予約等ができる「いこいの学校長居小」アプリの開発、地域の高齢者向けのスマートフォン・タブレットの使い方講座の開催。

## 事業目的

コロナ禍において高齢者の運動不足や身体機能の低下が懸念されているため、健康管理意識の醸成・高齢者の生きがい作りを行い、「いこいの学校長居小」を中心として町全体に健康的かつ生き生きとした暮らしができる環境を届ける。

## 事業効果

健康支援の催しをきっかけとして、他地域で平日にグラウンドゴルフをしていた方が週末は施設のグラウンドゴルフに通ったり、タブレット講座をきっかけとして、施設へ継続して足を運ぶようになってきたりなど、いこいの学校長居小が一つの町のように賑わいを創出する場所になってきており、共に盛り上がり共に楽しみ地域全体が明るく豊かになってきた。

## 今後やってみたいこと

コロナ禍が収束しつつあることから、健康推進イベントに声出し可能なシーンや外部団体を招いた新たな催しを取り入れ、更に活気あるものにしていく。

住民巡回に加え、チラシの配布等によっていこいの学校長居小アプリの普及率を高めることで、施設に通うことが難しい住民へのフォローにも尽力する。

## 活動状況写真



健康推進イベント



健康体操動画撮影

# ⑧いわき市ワークショップ推進事業

【実施団体】いわき市シティセールス推進協議会

【実施場所】いわき市内

【事業費】6,944千円（補助額：4,629千円）

〈一般枠〉

地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う広域的な視点に配慮された事業や、先駆的、モデル的な取組であり各地方振興局長が定める採択方針に合致する取組が対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円 【補助対象事業費の下限】50万円

## 主な事業内容

### ①市内ワークショップのプロモーションの実施

昨年度までの事業で造成したツアー商品等について、WEBプロモーションや、首都圏の企業等へのプロモーションを実施。

### ②副業人材等を活用した課題解決ワークショップの実施

市内企業や中山間地域が抱える様々な問題を調査し、首都圏等の副業人材や企業をマッチング、協働で課題解決を目指す、地域と一体となったワークショップツアーを実施。

## 事業目的

利益や継続性、経済効果の波及など、付加価値を生み出し、地域の魅力を感じるツアーを実施することで、コロナ禍によって経営難に苦しむ宿泊事業者の一助となり、交流・関係人口の増加や将来的な地域移住に繋げる。

## 事業効果

副業人材を活用したワークショップを通して、企業や地域団体等との繋がりを構築することができ、関係人口拡大の一助となった。また、各宿泊施設のワークショッププランやワークスペース利用を通じて、滞在・利用期間中の地域での消費拡大に繋げることが出来た。

## 今後やってみたいこと

市外の方に本市に興味関心を持って頂き、関係人口の拡大を図ることで、将来的な移住やふるさと納税に繋げるため、引き続き、いわき市や移住者に対する支援を行うI WAK Iふるさと誘致センターと連携し、情報の共有やワークショップ実施者に対する補助メニュー等検討していく。

## 活動状況写真



「アロハの街いわき市」をプロデュースするツアー



プレゼンテーション大会

# ⑨冬の風物詩づくり第3回「クリスマスマーケット」開催事業

【実施団体】小名浜クリスマスマーケット実行委員会  
 【実施地域】いわき市小名浜地区  
 【事業費】7,650千円（補助額：5,000千円）

〈一般枠〉  
 地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う広域的な視点に配慮された事業や、先駆的、モデル的な取組であり各地方振興局長が定める採択方針に合致する取組が対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）  
 【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円 【補助対象事業費の下限】50万円

## 主な事業内容

### ①小名浜クリスマスマーケットの開催

小名浜アクアマリンパークにて、市内の事業者を中心に名店自慢の逸品やクラフト雑貨などを集めたマーケットを開催。

### ②本物のもみの木のビッグツリー及びイルミネーション等の設置

イオンモール南側ペDESTリアンデッキの芝部を中心に、海をイメージし青を基調としたイルミネーション、ビッグクリスマスツリーを設置、階段部分に「光の回廊」を設置。地域の小学生を対象にペットボトルクリスマスツリーの製作・設置。

## 事業目的

小名浜の冬の風物詩づくりを進めることにより、アクアマリンパークにシーズンを問わず賑わいを創出し、交流スポットとしての役割を果たし、他地区から訪れる来港者に対する小名浜のお店のPRや地域経済への貢献につなげる。

## 事業効果

イルミネーションについては、SNS等での写真・動画投稿も多く、冬の港街に賑わいを呼び、地域のイメージアップに繋がった。

マーケット出店者から冬の定番イベントと認識されている向きもあり、コロナ禍のなかテイクアウト需要に勝機を見出す事業者にとって、平日営業とは異なる大きな「稼ぎ場」のひとつとなった。

## 今後やってみたいこと

イベントという一点集中ではなく、イルミネーションの設置期間にキッチンカーを呼びよすなかたちでのマーケットを模索し、引き続き冬の港の賑わい作りに寄与していく。

## 活動状況写真



イルミネーション（光の回廊）



ペットボトルツリー

〈過疎・中山間地域活性化枠（集落等活性化事業）〉

元気で賑わいのある地域づくりを目指し、過疎・中山間地域の集落等が行う集落等の再生・活性化への取組（①集落等再生事業）及びその計画を策定する取組（②集落等再生計画策定事業）が対象です。（単なる維持修繕を除く）

①【補助率】4/5以内※ 【補助限度額】500万円 【補助対象事業費の下限】25万円

※②で策定した計画に基づく事業を実施する場合は、100万円まで補助率10/10

②【補助率】10/10以内 【補助限度額】30万円 【補助対象事業費の下限】なし

# ⑩上三坂に住民のコミュニケーションの場所（居場所）を作るための実行計画策定事業

【実施団体】上三坂地区

【実施地域】いわき市三和地区

【事業費】307千円（補助額：300千円）

## 主な事業内容

### ①住民のコミュニケーションの場所を作るための実行計画の策定

住民主体となって地域資源を活用した住民コミュニケーションの場を創出するため、住民同士で話し合い、先進地視察等を行いながら計画を策定。

## 事業目的

学校統廃合、店舗閉店、空き家増加などが続き、住民のコミュニケーションの場所の創出が緊急の課題となっていることから、住民同士で話し合い、地元にある地域資源を活用した、住民のコミュニケーションの場所の創出するための計画を策定する。

## 事業効果

多様な経験とアイデアを持つ住民同士の交流や情報交換を行うことが出来たことにより、地域の現状について再認識し、自然環境や伝統・文化などの多様な魅力や財産を再発見し、将来の展望について考えを共有することができたことにより、参加者の地域に対する思いとまちづくりへの取り組みへの意識醸成に繋がった。

## 今後やってみたいこと

策定した計画に基づき、上三坂・治療院カフェ（仮称）を開業し、住民自ら運営し、地区内外住民が訪れたいくなるカフェにすることにより、交流人口増加につなげる。

## 活動状況写真



話し合いの様子



先進地視察